

Q 第二給食センター建設と給食の無料化を

A 建て替えも含めた対応が今後10年の内に必要だ



学校給食センター

やまもと ふじお
山本 富二夫議員



Q 大津町給食センターは米飯とパンは外部からの仕入れである。生徒数の増加が考えられる。第二給食センターを建設し地産地消の取り組みをし、大津町産の米や小麦や野菜等にすべきだ。日本近海で紛争が起きたら、直ぐに日本は食糧危機になる。民間給食会社が倒産した問題もある。その為にも一年間の米の使用量45トンの確保は町ですべきだ。一番困るのは給食を食べてる子どもたちだ。大津町産の安心安全な食材の確保に早めに取り組むべきだ。

給食費の無償化について、子どもの少子化対策が叫ばれている。県内でも、無償化に十四市町村が取り組みだした。町も取り組むべきだ。給食センターは築十三年が経過した。衛生管理基準の改定に対応できない面もある。建て替えを含めた対応が今後十年以内に必要だ。米飯も施設整備と併せて検討を指示。給食費の無償化には、一年間で二億五千万円の費用がかかる。今は大津中学校などの改修事業の整備に優先的に取り組んでいく。(町長)

その他の質問

- ・農工商併進のバランスのとれた対策を今後計画し進めるのか。
- ・平日の家族旅行、学校休んでOKの取り組みをすべきだ。

Q 財源確保と利便性向上を

A 関係団体と協議し進めていく



たしろ げんき
田代 元気議員



Q 新たな財源確保の取り組みとして、指定ごみ袋に広告を募集している自治体が増えている。この、広告掲載事業を行うことは新たな財源確保の他、広告掲載する企業のイメージアップにも繋がると考えるが、本町でも取り組む考えはないか。

A ごみ袋に広告を掲載することは新たな財源確保の取り組みのほか、住民サービスの向上、地域経済の活性化を図る取り組みとして、有効であると考える。先進事例を研究し、予想される広告主にニーズ調査を行い、町の要綱に基づき事業を進めていきたい。

その他の質問

- ・中学校部活動の地域移行について

一般質問 町政を問う 12月定例会 / 一般質問に16名中11名が登壇

Q 手話言語条例が必要

A 今年度末を目標に議案として上程したい



とよせ かずひさ
豊瀬 和久議員



Q 大津町では、手話の普及啓発活動が積極的に進められており、手話が着実に広がっている。現在、障がい者基本計画の見直しを行っているが、その計画を具体的に推進していくとともに、幅広い理解を深めていくためにも、手話言語条例の制定が必要だ。また、条例の制定と合わせて手話講座を開催していくことが重要だ。

A 条例を制定すること目的とならないように、条例とその施策の評価マネジメントにより、定期的、継続的な有効性の検証や見直しを行うことが出来る体制を検討したうえで、今年度末を目標に議案として上程したい。同時に、手話言語などの特性に応じた意思疎通手段への理解向上や、合理的配慮の促進に向けた取り組みも展開したい。(町長)

[やさしさの特集] ありがとうの伝え方を掲載した広報おおつ

その他の質問

- ・乗合タクシーの運行エリア拡充
- ・都市計画マスタープランの見直し
- ・带状疱疹の早期治療と予防について
- ・大津町運動公園改革
- ・視覚障がい者のための音声コード

Q こども基本法に基づきこどもの提案の尊重を

A 提案を町の政策に生かす場合も当然にある事



威風堂々たる充実した質問は答弁に必ず反映される

ときまつ ともひろ
時松 智弘議員



Q ジュニアリーダー夢議会で学生議員が質問を行った。関心を持つ話題や学習の成果をエビデンスとして練り上げられ、素晴らしい政策提言だ。これらの提案を行事として終わらせるには誠に惜しく、政策に反映すれば、こどもたちの意思尊重にもつながる。

A 生徒の提案を、全ての実行の担保は出来ないが、内容によっては、今後の町の政策に生かされていく場合も当然にあると考える。こども基本法においても施策に対し、こどもたちの意見の反映が求められており、意見を聞く場を設ける。(町長) 学習の中で、こどもたちの意見を町部局や教育委員会に提案してもらうことは可能と考える。こどもたちの学びへの意欲にもつながる。そのような教育活動の推進を進めていきたい。(教育長)

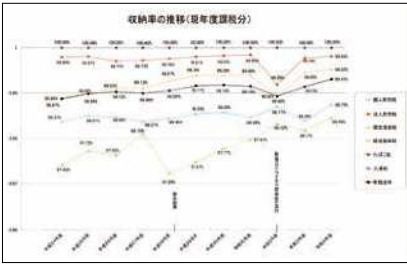
その他の質問

- ・公共施設の名称統一について
- ・有害鳥獣情報の有効活用について

Q 今後増えていく税収の行先は

A まちづくりの中で還元していく必要があると考えている

おおむら ゆういちろう
大村 裕一郎議員



Q 5月開催の町民懇談会で町長から「増えた税収は住民サービスに活かす」と明言されている。しかし、具体的な部分は出されていない。そして、町民からは企業の立地について「渋滞が悪化するだけ」との声も聞こえてきている。これは企業立地が与えるプラスの影響より渋滞というマイナスが目立っているからではないかと考える。

増えた税収は中心部だけでなく北部や南部、またそのエリアの中心的な産業である農業にも分配すべきだと考える。A 増えた税収分は町のあらゆる分野と地域、さらに将来世代も含めた全体的なまちづくりの中で還元していく事が必要だと考えている。当然農業も含まれている。北部地域は中九州横断道路の事業化により、北側復旧道路への接続も想定されるため、これらを活用した北部地域の振興の検討が必要である。南部地域も空港アクセス道路の開通に合わせて、必要なインフラ整備や、これらを活用した南部地域の振興を図っていきたい。

その他の質問
・渋滞対策について

Q これから先の大津町の祭りについて

A 必要経費は増額、組織体制は協議

にしかわ ひでつぐ
面川 秀貞議員



大津地蔵祭り

Q 1850年から続く大津地蔵祭り、ここ数年の状況からして、実行委員会だけの力では、限界が来ている。協賛金においても限界があり、予算面でも厳しい状況である。

A 地蔵祭りを未来の子どもたちに残していかなければならない。必要な経費について、今年度は、事前協議のうえ増額した。今後の経費と組織体制については、商工会、実行委員会と協議していく。(町長)

その他の質問
・町の補助金のあり方について
・医療機関への支援について

Q 美咲野交差点付近の渋滞・交通事故予防は町の責任

A 渋滞と安全対策を検証し、物流産業道路も検討していく

あらかし としひこ
荒木 俊彦議員



美咲野交差点 (通称) 現在4差路の交差点は美咲野団地が開発されるまで3差路でした。歴史的名称として「桜山交差点」と呼ばれていた。付近に桜の木がたくさん植栽され、町の人の花見でにぎわっていたと記録されている。

その他の質問
・町道路行政の不作為と言える都市計画道路の反省
・ケアー屋さん北側の町道閉鎖部分の活用策

Q 美咲野交差点とケアー屋さん東の三差路交差点は、渋滞と交通事故が頻発している。この三差路は信号も横断歩道設置もできない非常に危険な交差点。東側にコンビニも新設されている。TSCM(台湾積体電子製造)関連で熊本市方面から高規格道路が325号の杉水交差点まで開通すれば、特に大型貨物車両が、二つの交差点に集中し、高尾野の北回り復旧道路インターへの通行が激増することは明らかである。

A 美咲野交差点付近の渋滞は、議員ご指摘の通り、朝夕の渋滞が常態化している。交通事故については、防護柵と反射材の設置後は発生していないが、今後も有効な方法がないか、警察とも協議していく。渋滞対策として交通量調査・信号制御の時間変更などで、渋滞解消効果を検証し、警察との協議も始めている。近隣の交通量・住宅開発等のデータも分析し、道路幅員、交差点改良や新設道路の検討をおこなう。物流産業交通としての迂回路の必要性などについても、この計画の中で検討する。(町長)

Q 誰1人取り残さないまちづくりを

A 実現可能な対策を障がい者と共に考えていく

やまべ りょうじ
山部 良二議員



- バリアフリー階段手すり設置の要点
- (1) 点字ブロックの設置
 - (2) 段の色や材質の変化 (視覚的な区別)
 - (3) 滑り止め加工
 - (4) 視認性の確保 (反射材の利用)



美咲野 3丁目の階段



肥後大津駅



美咲野 1丁目の階段

その他の質問
* 「オーガニック給食を子供たちに」について
* 「教職員も含む職員の長時間労働の是正について」

Q 事業者や自治会等の合理的配慮の提供が義務化される。これに伴い、町による助成制度が必要ではないか。また下肢の不自由な高齢者の方から段差や傾斜のある階段は危険で怖いが回覧板などを回すときにどうしても通らなければならぬので改善してほしいと相談があったが、障がいのある方々の障壁を取り除くための対応、対策を問う。

A 障がいのある方や行政機関、事業者・地域住民など、様々な関係者の建設的な対話による協力と合意により、共生社会の実現という共通の目標に向け、実際にはどのような支援が必要になるのかを見極め、たううえで実現に即した取り組みを推進していく。また道路関係の整備については、危険度の整備について優先順位をつけて整備を行っていく。また指輪のあった階段の手すりの設置は今年度に対応する。(町長)

環境アセスメントについて 貯蓄から投資へについて



ながた かずひこ
永田 和彦議員

国民の生命と財産を守るのが政治



論点

○半導体製造による環境への影響や安全性に不安が残るまま、国は今後の経済予測を踏まえて半導体産業への多大な投資を決定しているが、国や県は環境アセスメントを行っていないので地域住民の安全性は確保されていない。

○半導体関連企業への町による環境アセスメントの確立は町民を守るためには必須である。

論点

○そもそも国が誘導するものではない。確実に利益を出すのは金融業界。銀行や証券会社である。

○為替に対する理解、株に関する理解が無い国民に対し財産を投資しなさいは大きな矛盾で、経済動向や企業の業績変化などの不確定要素が絡む株式投資において必勝法はない。

切り取ってお出ください

郵便はがき

料金受取人私郵便
8 6 9 - 1 2 9 0

大津局
承認
702

(受取人)
大津町大字大津1233番地

差出有効期間
2024年5月14
日まで
大津町役場 議会事務局
議会広報編集特別委員会 行

ふりがな
ご氏名

ご住所

お電話 () - () - ()

次回定例会は
3月1日(金)開催予定
(日程は変更になる場合があります)
日程 3月1日(金)～19日(火) (予定)
会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会
編集: (委員長) 三宮 美香 / (副委員長) 豊瀬 和久
(委員) 時松 智弘 / 田代 元氣 / 大村 裕一郎
発行責任者: (議長) 桐原 則雄

編集後記

12月定例会での文教厚生委員会は、オンライン会議で開催され議員1名が在宅で出席しました。
採決を含む議案審議をオンライン化したのは初めてでしたが、音声・映像ともに問題なく議案の質疑、討論、採決までスムーズに審議することができました。

9月定例会では、私自身が新型コロナウイルス感染で出席できなかった本会議のオンライン開催を見据え、積極的にオンラインの活用に取り組んでいくと同時に「効率化」や「利便性向上」ということだけではなく、デジタル技術で弱者を救う「デジタルインクルージョン」という発想を持ってデジタル化に取り組んでいきたいと思っております。(豊瀬 和久)

令和6年2月1日 第106号 発行 / 熊本県菊池郡大津町議会
編集 / 議会広報編集特別委員会 印刷 / 株式会社キャップ
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

指定文化財、地域の活性化

A 地域の誇りと賑わい



さかもと のりみつ
坂本 典光議員



円満寺 摩利支天堂

その他の質問

- 過去の広報誌の目次一覧の作成
- 上鶴を流れる水路(ろくそう井手)の雑草伐採

国内で文化財を地域の活性化と観光に活用しようという動きがある。大津町には国の重要文化財として江藤家住宅があり、町の指定文化財は一五ある。中部、南部に比べて北部は少ない。

矢護山の麓に無動寺跡があるが無動寺は比叡山延暦寺の末寺であった。そこにあった不動明王が矢護川の円満寺に残されている。

真木にはかつての合志郡一帯を支配した合志一族の守り神といわれる摩利支天像が祀られている。ともに時代のストーリー性のある像である。

A 山都町の通潤橋が国宝に指定されたら、多くの観光客が訪れた。これは町指定の文化財にも当てはまると思う。町は地域の誇りや賑わいの向上を図っていく。(町長)

北部の無動寺跡や円満寺、摩利支天などは、鎌倉時代に遡る大津町の初めの頃に開けるストーリーでもあり、個々に文化財を語るよりも大変興味も理解も深まる気がする。(教育長)

町内公園の安心して過ごせる環境づくり

A 時期を見て検討する



さんのみや みか
三宮 美香議員



かぶとむし公園の女子トイレ(和式のみ)

その他の質問

- 子育てしやすいまちづくり、各団体・組織の連携と子育て・健康センター

町内の公園、特に子どもたちが遊ぶ頻度が高いかぶとむし公園と中央公園の管理状況に心配な点がある。

かぶとむし公園の樹木を伐採した後の切り株がぼろぼろの状況で、返って危ない状況ではないか。また、かぶとむし公園のトイレは男女とも和式しかなく、多目的トイレは天井に穴が空いている。中央公園のトイレは

男子用は和式しかなく、女子用は洋式はあるが幼児には使いにくい作りになっている。安心して過ごせる環境づくりの配慮が必要ではないか。

A かぶとむし公園の切り株については安全面に配慮し撤去する。トイレの屋根は修理見積を依頼中。トイレの洋式化や子ども用トイレについては時期を見て検討する。(都市整備部長)